

山行報告書

受付 No.	271	登山地・ルート	両神山
目的	歩行トレーニング & 百名山ハント		
メンバー	大山		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム
10・9・日	晴/曇	浜松＝中双里①～白井差峠～大峠～両神山～大峠～白井差峠～②＝浜松 6:57 8:42 9:54 11:39 12:54 14:05 15:03

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

夏山で疲れ切り、しばらく山には行きたくないと思っていたが、特にトレーニングもせずに1月以上経ち、山に初冠雪のニュースなどが相次ぐと焦りを覚え山行を思い立つ。来週の温泉山行のためにも。

浜松から3時間半くらいで道の駅みとみに着き仮眠。明るくなってから登山口へ移動する。今回、行ったことのない百名山で日帰りできそうなところということで両神山にしたが、ガイド本を見て、地権者とこじれて閉鎖された登山道があるとかで面倒くさそうな山だなと思った。中双里に着いて橋を渡った集落の道の突き当たりに駐車スペースがあったが、登山者用とも何とも表示されておらず、もめ事になるのも嫌だと思い、集落には入らず県道脇のスペースに停めた。両神山登山口であることは大きな看板が出ていたが、肝心の入って行く道が分らずうろろしていると住民が教えてくれた。集落の突き当たりの駐車スペースに停めて来れば見える向きに標識が出ていたので、やはり停めてよかったのかも知れない。

家と家の間の狭い道を上って登山道に出ると白井差峠まではなかなかの急登だった。白井差峠から梵天の頭まで登ると道が下っている。計画書で概念図は書いたが標高差のシュミレーションなどしていないので、大峠までの標高差にちょっとがっくりした。尾根も細く注意がいる。大峠でこちらに来る単独者とすれ違う。ルート全体として踏み跡は大体ついていて不明瞭な箇所もあり、テープはほぼ継続的についていても部分的にまばらなところがある。1回、登りきった先が絶壁で、戻りながら下に見えた踏み跡までショートカットして5mほどの岩場を慎重に下る。こういう横着が事故の原因なんだよな、と自覚しながら。

ミヨシ岩まで登ると展望が開ける。しかしそこからまた下る。この鞍部までの下りがテープ少なめで踏み跡も不明瞭だった。心配になると地図と磁石で方角が合っていることを確認し先へ進む。山頂の少し手前で規制ロープをまたいで一般道に合流する。お客を連れた地元ガイドみたいな人にどこから来たか聞かれ、中双里から登る人は最近あまり見ないと言われる。浜松から一番近い登山道というだけで選んだのだがマイナーなルートだったらしい。他に登ってる人がいないので両神山はマイナーな山かと思っていたが山頂は小屋のあるルートから登ってきた人でそこそこ混んでいた。おにぎりを食べて下山にかかる。

登りのときに帰りに心配な箇所にはテープを付けて登ったが(下山時に回収済)、それでも1回、左へ行くとところを見落として真っ直ぐ行ってしまう。しかし間違えれば明らかに藪になっておかしいし、おかしいと思えば地図と磁石で修正可能。テープ以外にも指導標があるが、大半は壊れている。自然にここまで壊れる？と思うものもあったが、あまり深入りしたくないものだった。下山後の温泉は「笛吹の湯」(500円)。

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者	
-----	----	----	----	---	---	---	-----	--



登山口標識～向こうから来ると分らない



壊れた指導標①～下に残骸が散らばる



ミヨシ岩付近～展望が開け、紅葉もきれいだった



壊れた指導標②～同上



山頂付近もきれいに紅葉していた



中双里